

研究実施のお知らせ

研究課題名：本邦における心血管インターベンションの実態調査（J-PCI）

研究期間：2018年6月22日～2027年3月30日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された既存試料・情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2017年1月～2019年12月に当院で経皮的カテーテルインターベンション術（以下、PCI）を受けられた方

【研究の目的と意義】

本邦におけるPCIの全容を正確に把握し、データ収集、解析を行い、学問的な進展を図ることができます。また、PCIにおける今後の課題を明らかにし、その課題を解決するための方法を検討していくことで、さらにPCIが安全に行える治療として確立することが期待されます。

【研究の方法】

心血管インターベンション手技の患者背景、手技情報ならびに術後成績に関する情報が登録され、その内容を全国的に調査・集計することで、日本の心血管インターベンション手技の進歩と医療の質向上へ寄与することを目的に全国の参加施設（2017年6月時点 1200施設）からインターネットを介したデータ収集が行われています。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報（診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、服薬内容、採血結果、カテーテル治療内容、合併症の有無）を、PCI後の予後調査として、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究の実施体制】

この研究は、多施設共同研究として、以下の共同研究機関で実施されます。

研究代表者：（東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科教授）

一般社団法人 日本心血管インターベンション治療学会 理事長 中村 正人

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 循環器内科 三引 義明
仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号
電話：022-308-7111（代表）